



さくら小 とくの日だより

令和6年5月20日 No.2

心を育てる道徳教育

道徳の授業で子供たちは、教材について自分だったらどうするかを考えたり、友達と話し合ったりして、心を育てています。今月の道徳だよりでは、どんな教材を授業で扱ったのか、児童がどんなことを考え、これから生かそうとしたのかなどの振り返りを載せていきたいと思います。6年生の授業の様子をお話しします。

生命や自然

自分自身



集団や社会との関わり

人との関わり

「友達だからこそなやむこと」 友情、信頼

えみかが持っていたキャラクター図鑑がなくなってしまう、仲が良いこういちが取ったという噂が流れてしまう。疑われたこういち、みんなから避けられてしまう。すると、なくなっていた図鑑はえみかの家の中から見つかる…という話である。

【授業の目的】

6年生に進級して新しいクラスになり、新たな人間関係で過ごしています。相手の気持ちや立場を想像しながら、友達という存在の大切さについて考えさせることで、普段の自分の生活について見つめさせたいと考えました。

【授業者から】

友達だからこそぶつかることもあるかもしれないけれど、相手のことを思って行動することが本当の友達であるという意見も出ました。また、疑われてしまう立場の友達の気持ちを考えることで、相手の考えに寄り添った考え方を広げることができたのではないかと思います。相手の気持ちや立場を想像することで、自分自身の友達関係についても考えることができました。

【児童の振り返り】

ほんとうの友達とは、楽しいときは笑って、だめなことはちゃんとおたがいにいえることだと思おう。

こみかからは、友達に頼りかけられるか、もしも頼りたいけど友達のたすめにたがいてあげたか、あ、たがいてあげた。

大切…自分の気持ち、大切…人。

おめてほしいこと、ダメなことは注意して、おたがいにいえること、よくすごせる。それか、本当の友達関係だと思おう。

うわさに流されず、
 本人と自分ほのほわ
 こなれと思うという自
 の意見を持た方が
 いと思った。注意をす
 れば、モヤモヤも消えて
 言われた側もあやま
 りば、元々も合持がよ
 終われるんじゃないかと
 思った。



私もたいちさん
 みにいこうたかっ
 てしまうことが
 あるので、まっほ
 り言う(注意)す
 る方がいいのかな
 と思いました。
 重く受け取れず
 きない。(場面によっ
 時には注意もする
 個性)



この1か月で新しい友達が増えたり、友達との信頼関係が深まったりした人が多いと思います。友達がいることで楽しいこと、嬉しいことも増えていきますが、時には疎外感を感じたり、友達関係で悩んだりすることもあると思います。学習活動や毎日の生活の中で、友達と協力したり、助け合ったりしながら、最高学年の一年を過ごして行ってほしいです。



ちょこっと紹介 6年生

友達の意見を聞きながら、問題を解決したり、考えを深めたりしています。【国語】

新しい学級！みんなで協力して頑張っています。【学級活動】

みんなで話し合っって学級目標を決めました。一人一人の学級への思いを書いています。【学級活動】

声を出しながら、友達と励ましあっています。【体育】